

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	哲学概論B (Introduction on to Philosophy B)		
ナンバリングコード	K10904	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(選択必修): 高等学校教諭一種免許状(公民)、中学校教諭一種免許状(社会)		
授業コード	K004951	クラス名	-
担当教員名	藪内 聡和		
履修上の注意、履修条件	哲学概論Aを履修することが望ましい。 興味・関心を持って真面目な態度で授業を受けて下さい。		
教科書	貫成人『図解・標準 哲学史』、新書館、2018年。		
参考文献及び指定図書	授業中に適宜指示します。		
関連科目	倫理学概論A・倫理学概論B・哲学概論A		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	高等学校の公民科には「倫理」という教科がありますが、中学校の社会科でも倫理的な内容を扱います。これらの内容を教えるためには、様々な思想家がどのような倫理学説を論じたかを理解している必要があります。倫理学は哲学の一分野です。倫理学を深く理解するには、倫理学者の哲学説を知ることが必要です。そこで、本授業の目的は、哲学概論Aに続いて、高等学校公民科と中学校社会科の教員免許取得を目指す学生が、哲学の歴史を学ぶことによって、哲学的な考え方の基礎を培うことにあります。						
授業の概要	哲学は特別な学問ではありません。なぜなら哲学しない人間はいないからです。例えば、私達は、人生につまずいたとき、人生の意味を考えることがあります。これは既に哲学しているのです。私達は、よりよく生きようと思い、人生の意味を考えます。つまり、よく生きるためには、哲学することが重要なのです。ただし、有限な存在である私達が考えることのできる範囲は限られています。よりよく考えるためには哲学者が何をどう考えてきたのかを知ることが必要です。そこで本授業では、哲学史上の様々な哲学者の思想を解説します。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>調査学習</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	調査学習
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	調査学習						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	高等学校公民科嘱託講師 高等学校で嘱託講師として4年間、公民科の授業を担当した。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	哲学の歴史に興味を持てたか。	5点		
【知識・理解】	哲学の歴史の概略が理解できたか。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	各哲学者の考え方が表現できるか。		50点	
【思考・判断・創造】	哲学的な考え方が身についたか。	5点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
授業で扱った哲学者の考え方が、どれだけ身についているかを評価します。授業で扱う哲学者の考え方を板書計画としてレポートを提出してもらいます。その内容を評価します。レポートは次回以降の授業で返却します。評価は、レポート50点+期末試験50点=計100点です。

○その他
授業で扱う哲学者の考え方を板書計画にしてレポートを提出してください。その内容を評価します。レポートはA4サイズの内紙で提出して下さい。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：哲学概論B (Introduction on to Philosophy B) 担当教員：藪内 聡和 授業コード：K004951	○授業計画 科目名：哲学概論B (Introduction on to Philosophy B) 担当教員：藪内 聡和 授業コード：K004951
学修内容	学修内容
<p>1. パークリ パークリの哲学について、存在と知覚の関係を学びます。</p> <p>予習：教科書、82-83頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>9. ショウベンハウアー ショウベンハウアーの哲学について、意志と表象の関係と苦しみを学びます。</p> <p>予習：教科書、116-117頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>2. ライプニッツ ライプニッツの哲学について、モナド論・予定調和・充足理由律を学びます。</p> <p>予習：教科書、84-87頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>10. 功利主義 功利主義の哲学について、ベンサムとミルの学説を学びます。</p> <p>予習：教科書、118-119頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>3. ヒューム ヒュームの哲学について、知覚と観念の関係を学びます。</p> <p>予習：教科書、88-90頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>11. キルケゴール キルケゴールの哲学について、宗教的実存・単独者・レギーネ体験を学びます。</p> <p>予習：教科書、120-121頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>4. ルソー ルソーの哲学について、社会契約論・一般意志を学びます。</p> <p>予習：教科書、94-95頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>12. マルクス マルクスの哲学について、唯物史観・疎外論を学びます。</p> <p>予習：教科書、122-125頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>5. カント カントの哲学について、理性の限界・コペルニクス的転回・義務倫理学・形式的美学を学びます。</p> <p>予習：教科書、96-105頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>13. ニーチェ ニーチェの哲学について、ニヒリズム・永劫回帰・力への意志を学びます。</p> <p>予習：教科書、126-129頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>6. フィヒテ フィヒテの哲学について、事行・観念論・無神学論争を学びます。</p> <p>予習：教科書、106-107頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>14. プラグマティズム プラグマティズムの哲学について、パース・ジェームズ・デューイを学びます。</p> <p>予習：教科書140-141頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>7. シェリング シェリングの哲学について、自然・ポテンツ・同一哲学を学びます。</p> <p>予習：教科書、108-109頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>15. ハイデガー ハイデガーの哲学について、世界内存在・死に向かう存在・その思想の転回を学びます。</p> <p>予習：教科書、178-181頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>
<p>8. ヘーゲル ヘーゲルの哲学について、弁証法・絶対精神・その哲学体系を学びます。</p> <p>予習：教科書、110-115頁を読んでください。(約2.0h) 復習：学んだ内容を板書計画として次回提出して下さい。(約2.0h)</p>	<p>16. 期末試験 予習：今までの学習内容をまとめ、試験勉強をして下さい。 復習：</p>